

# 前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第 34 号

H26. 10. 30

## 文化祭で得たもの

～ 協力と思いやりでふれあった学級企画・  
心ひとつに盛り上がったステージ発表 ～



10月25日(土)の文化祭には、早朝よりご来賓や保護者の皆様にお越しいただき、また、最後のステージ発表まで多くの保護者や地域の皆様が子どもたちに声援をくださり、心より感謝いたします。また、PTA 役員や委員の皆様をはじめ、保護者の皆様も「喫茶どうたくん」の運営や、ご来場ありがとうございました。子どもたちも窓の向こうに建築中の体育館の木材の屋根を見ながら、笑顔いっぱい過ごせました。重ねてお礼申し上げます。

今年度は、3年生の受験態勢への切り替えを早くするために、先に文化祭、その約10日後に合唱コンクールという日程にしました。どの学級も後期の学級づくりの立ち上げと同時に、来てくれる人々に楽しんでもらえるような企画・準備をしてみました。その中では、話し合いや出展ブースづくりの試行錯誤を繰り返し、協力の大切さも学んだことでしょう。当日は盛り上がり、おもてなしの学級企画でした。

一方、ステージ発表では、学校での朝練習や授業後のリハーサルはもとより、休日なども使って練習を繰り返してきた子どもたちも少なくありませんでした。ダンス、歌、マジック、コント、バンド等…会場が一体となって楽しめました。ピアノの連弾では、長い期間の練習のすえ、見事に息の合った演奏をすることができました（私は感動して涙が止まりませんでした）。最後を飾った3年生のバンド。男子生徒の刻むドラムのリズムを中心にその曲の仕上がりは素晴らしく、演奏に乗って歌う男子生徒の歌声は、もうお別れも近づいてきた体育館内に響き渡りました。保護者席から始まった「アンコール！アンコール！」の声に応えた演奏中に、次の日の「市民館芸能・作品展」の準備の合間に駆けつけた自治会の方々も、一緒になって聴くことができました。終盤のインタビューで司会者に感想を聞かれた出演者のみなさんが「ステージにあがって緊張したけれど、練習より本番が楽しかった」と口々に言っていました。出演者と観客の皆が、お互いに呼応しながら、心ひとつになって楽しんだからでしょう。

最後に忘れてはならないのが文化祭を支えた裏方スタッフです。看板やポスターの製作、あるいはリハでの動きの練習を繰り返しました。そして、中心となって文化祭を動かした生徒会新旧役員です。学校のみなさんのため頑張ってきた姿は、本番の暗闇の中でもフル活動でした。次のステージにスムーズに進む段取りや、手拍子のリードも常に生徒会役員の子たちでした。陰で、ひなたで、文化祭を支えてくれました。

感動をありがとう。みんなで創りあげた素晴らしい文化祭でした。

